

甲斐の客中

萩生徂徠

甲陽の美酒緑葡萄

霜露三更客袍を湿す

須識良宵天下少なるぞ

芙蓉峰上一輪高し

【作者】萩生徂徠(一六六六〜一七二八年)(寛文(かんぶん)6年〜享保(きょうほ)きようほう(十三年) 江戸中期の儒学者。名は双松(なべまつ)、

通称惣右衛門、字は茂卿(もけい しげのり)、号は徂徠。姓は物部(ものべ)先祖、氏(うじ)は萩生(出所)。父、方庵(はつあん)は幕府の侍医(じい)であった。柳沢吉保(やなぎざくきちよ)に仕え、徳川綱吉(とくがわなづき)に認められたが、綱吉(なづき)死後(しご)一七〇九年(きこう)官を辞(や)し、日本橋(にっぽんばし)に住み(す)学問(がくもん)に専心(せんしん)した。晩年(ばんねん)吉宗(よしむね)の

試問(しもん)にあず(あ)かった。太宰春臺(たさいはるたい)、服部南郭(はくべなんかく)等(ら)はその門弟(もんてい)である。享保(きょうほ)きようほう(一三年)正月(しょうげつ)六十三歳(ろくじゅうさんさい)で没(ぼつ)した。「弁道(べんどう)」  
「けん園隨筆(けんえんずいひつ)」  
「論語微(ろんごちよう)」  
「訳文筌蹄(やくぶんせんてい)」  
「政談(せいだん)」  
「太平策(たいへいさく)」  
「南留別志(なんりゅうべし)」  
「弁名(べんめい)」等(ら)多(おほ)くの著書(しよしょ)を残(のこ)している。

【語釈】\*甲 陽… 甲斐の国(山梨県)。 \*緑葡萄… みどり色をした葡萄。 \*霜 露… しもとつゆ。

\*三 更… 子(ね)の刻(こく)午後(ごご)一(いち)時(じ)〜午前(ごぜん)一(いち)時(じ)。 \*客 袍… 旅(りょ)の装(よう)い(袍(ほ)は綿(わた)いれ)。 \*良 宵… よい夜(よる) 気持(きもち)ちのよい晩(ばん)。  
\*芙 蓉… 富士山(ふじさん)の雅称(みやびなづか)い(ほめ)ことば。

【通釈】甲斐の国(かい)のおいしい酒(さけ)は、この地方(このちゆう)の名産(めいさん)の緑色(りよく)の葡萄(ぶどう)から造(つく)られている。この葡萄酒(ぶどうざう)を味(あじ)わっているうちに、時(とき)がたちいつの間(ま)にか夜(よる)の十二時(じふにじ)頃(ころ)となり霜(しも)や露(つゆ)で旅衣(りょい)(たびころも)はすつかり湿(ぬ)ってしま(な)った。こんなすばらしい夜(よる)はめ(め)つたにないことだ。富士山(ふじさん)の嶺(たかね)を見上(みあ)げると一輪(いちりん)の月(つき)が皎々(せうせう)と高(たか)く輝(かが)いている。愉快(えんげき)この上(う)もないことである。